

来週の「売り物」記事はこれ



2014年5月23日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

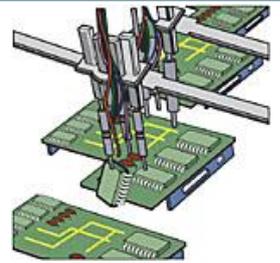
さらば、大企業！

脱藩技術者たちの負けじ魂

25日（日）



「世界の——」とうたわれたソニーの3月期連結決算が1283億円の赤字となりました。日本の電機メーカーが世界の市場を席卷する時代はとうの昔に終わりを告げ、国際競争力は低下する一方のようです。ソニーのみならず、日本を代表する電機メーカーの多くはヒット商品に恵まれず、「部品供給業」として企業向けビジネスで巨体を維持している状況です。そうした様変わりする大手メーカーからスパインアウトした技術者らが立ち上げたベンチャー企業がいくつかあります。なかにはきらりと光る新商品をつくりだし、海外で高い評価を受けている企業も生まれてきました。共通するのはメーカーで培った技術力と、不撓不屈の精神。その軌跡をたどると、日本企業が世界で勝ち抜くヒントがおぼろげながら見えてくるようです。



そうした様変わりする大手メーカーからスパインアウトした技術者らが立ち上げたベンチャー企業がいくつかあります。なかにはきらりと光る新商品をつくりだし、海外で高い評価を受けている企業も生まれてきました。共通するのはメーカーで培った技術力と、不撓不屈の精神。その軌跡をたどると、日本企業が世界で勝ち抜くヒントがおぼろげながら見えてくるようです。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

「忘災」の原発列島

再稼働は許されるのか

夕刊2面特集ワイド26日（月）から3回



東京電力福島第1原発

東京電力福島第1原発事故から3年あまり。事故はいまだに収束していないにもかかわらず、国は原発再稼働に向けた歩みを進め、「第1号候補」である九州電力川内原発の安全審査が大詰めを迎えている。事故のことなど忘れてしまったかのようだが、本当に再稼働を進めて良いのだろうか。新シリーズ「『忘災』の原発列島」の第1弾として、事故時の住民避難計画が既に完成したという四国電力伊方原発の地元を歩くなどして、再稼働へ向けた準備が整ったと言えるのか検証します。

「女の気持ちをたずねて」

おんなのしんぶん面26日（月）

おんなの
しんぶん



新潟県柏崎市の岡嶋由美子さん（71）は、「女の気持ち」欄であった子育て論争で「世代間の格差」を訴えました。「経験者の声に耳を傾けて」とも。黒田阿紗子記者が訪ね、改めて聞くと、共通点も見えてきました。



「孫育てのツボ」

くらしナビ面 26 日 (月)



5月のテーマは「孫連れ出そう」。育児に携わる祖父をソムリエならぬ「ソフリエ」と名付け、各地でソフリエ講座を開いている古久保俊嗣さんに、娘・息子の元から孫を上手に連れ出して、孫と一緒に楽しく過ごす方法について聞きます。特別な場所に連れて行くより、手軽な楽しみ方があるようです。

新茶を楽しむ

くらしナビ面 28 日 (水)

新茶のさわやかな香りが楽しめるシーズン。いつもはペットボトルのお茶しか飲まない人も、たまには家でお茶を入れてみては。昔ながらのお茶屋さんの店主で、お茶きき名人として知られる大山泰成さんに、香りを活かしたいれ方や、おいしいお茶の選び方を教えてもらいます。

